

Michiaki Ueno
Cello Recital

上野

チェロリサイタル

通明

東京音楽コンクール入賞者リサイタル

ピアノ：須関裕子

2018年3月5日(月) 18:30 開場
19:00 開演

東京文化会館 小ホール

入場料：3,000円 [全席自由]

一般発売開始9月5日 友の会先行発売9月1日 会員割引あり

チケット販売

イープラス eplus.jp<PC&携帯>

チケットぴあ 0570-02-9999 音声自動応答：Pコード：782-889) t.pia.jp

東京文化会館チケットービス 03-5685-0650

主催：アンドビジョン株式会社 Tel.03-3278-3450

〒104-0031 東京都中央区京橋1-5-5 京橋共同ビル5F info@andvision.net

共催：東京文化会館 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

PROGRAM

ヤナーチェク：
L. Janáček:

おとぎ話
Pohádka

リゲティ：
G. Ligeti:

無伴奏チェロソナタ
Sonata for Solo Cello

ストラヴィンスキー：
I. Stravinsky:

イタリア組曲
Suite Italienne

デュティユー：
H. Dutilleux:


ザッハーの名による
3つのストローフェ
3 Strophes sur le nom de Sacher

ブラームス：
J. Brahms:

チェロソナタ第2番
へ長調 作品99
Sonata for Cello and Piano No.2 in
F major, Op. 99

“Michiaki Ueno is one of those rare performers who have it all: communicative, spellbinding authority and charisma. Not to mention the most natural musicality and superlative technique.”

Pieter Wispelweij



“上野通明は、その極めて自然な音楽性、卓越したテクニックは言うまでもなく、豊かな表現力、人々を魅了する説得力、カリスマ性、これら全てを持ち合わせた稀有な演奏家の一人である。”

ピーター・ウィスペルウェイ

2009年13歳で第6回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクールにて、日本人初の優勝、翌2010年第6回ルーマニア国際音楽コンクール弦楽器部門最年少第1位、ルーマニア大使館賞、ルーマニアラジオ文化局賞を併せて受賞。2012年第10回東京音楽コンクール弦楽器部門第2位他、2014年第21回ヨハネス・ブラームス国際コンクールチェロ部門に18歳で優勝、若手国際派チェリストとして話題となる。

クロンベルクアカデミー、ウィーン国際アカデミー、国際音楽祭 NIPPON、武生国際音楽祭、グレートマウンテン音楽祭、カザルス国際音楽祭、ヴェルビエ音楽祭等、数々の国際音楽祭に参加し、フランス・ヘルマーソン、イヴァン・モニゲッティ、ミクロシュ・ペレーニ、ジャン・ワン、フランソワ・サルク等のマスタークラスを受講する。

これまでに新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、ロシア交響楽団、ノイエ・フィルハーモニー・ヴェストファーレンなど国内外のオーケストラと多数共演。NHK-BS「クラシック倶楽部」、NHK-FM「リサイタルノヴァ」、韓国KBSテレビ「クラシックオデッセイ」、テレビ朝日「題名のない音楽会」等に出演。2016年シャネル・ピグマリオンデイズ・アーティストとしても大きな注目を集める。

岩谷時子音楽文化振興財団より「第1回Foundation for Youth」「第6回岩谷時子賞奨励賞」、2016年青山財団より青山音楽賞新人賞受賞。2014・15年度ロームミュージックファンデーション、第44回江副記念財団奨学生。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース全額免除特待生として毛利伯郎各氏に師事した後、2015年より留学。ドイツでも活発な演奏活動を始めつつ、現在デュッセルドルフ音楽大学にてピーター・ウィスペルウェイのもと更なる研鑽を積む。

プロフィール

Cello
Michiaki Ueno

上
野
通
明



共演

須
関
裕
子

Piano
Hiroko Suseki



桐朋女子高等学校音楽科2年在学中に、第2回チェルニー＝ステファンスカ国際ピアノコンクールにて第1位、併せてステファンスカ賞、遠藤郁子賞受賞。翌年ポーランド各地でリサイタルを行う。第18回園田高弘賞ピアノコンクール第3位。第16回宝塚バガ音楽コンクール第1位。第3回国際室内楽アカデミー（ドイツ）にてグランプリを受賞。

桐朋学園大学音楽学部卒業、同研究科を首席修了。野平一郎氏プロデュース「ピアノ伴奏法講座」2008～2010年度受講生。ソリストとして、秋山和慶氏指揮・大阪フィルハーモニー交響楽団、長田雅人氏指揮・ふじのくに交響楽団、新田孝氏指揮・ニッポンシンフォニー、鈴木秀美氏指揮・静岡交響楽団、東京フィルハーモニー室内合奏団と協奏曲を共演。NHK-FMやTOKAIケーブルネットワーク「静響アワー」等出演。

室内楽・アンサンブル奏者として国内外の音楽家からの信望も厚く、堤剛氏をはじめ、多くの演奏家のリサイタルやCD等で共演している。

これまでに穂吉慶子、寺西昭子、ミハイル・ヴォスクレセンスキー、野平多美の各氏に師事。

桐朋女子高等学校および桐朋学園大学非常勤講師（ナンバリズミック）。